

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	東京都	関係市町村	新島村
事業名	水産資源環境整備事業（水産生産基盤整備事業）		
地区名	シキネジマ 式根島	事業主体	東京都

I 基本事項

1. 地区概要			
漁港名（種別）	ノブ 野伏漁港（第1種）、コハマ 小浜漁港（第1種）	漁場名	シキネジマ 式根島漁場
陸揚金額	54 百万円	陸揚量	60.6 トン
登録漁船隻数	23 隻	利用漁船隻数	23 隻
主な漁業種類	ひき縄釣、いか釣、刺網 他	主な魚種	あかいか、まぐろ類、かつお類 他
漁業経営体数	39 経営体	組合員数	84 人
地区の特徴	野伏漁港及び小浜漁港は、式根島の沿岸漁業における水産物流拠点（陸揚基地）としての役割を果たしている。役割分担については、野伏漁港は式根島の交通拠点として、水産物の集約・島外出荷機能、海洋リクレーション・都市交流拠点の機能を有し、一方、小浜漁港は島内・県外漁船の避難拠点となっている。		
2. 事業概要			
事業目的	式根島地区の野伏漁港と小浜漁港は隣接しており機能分担を図り、効果的な整備により、本土と一体となった効率的な水産物流ネットワークを構築するとともに、安全で利便性の高い漁港就業環境を実現させ、「安全・安心で活力ある離島」を目指す。 野伏漁港は、陸揚げ・準備・出荷作業等の生産労働の効率化を図り、小浜漁港は島の避難拠点としての機能を拡充させ、安全な漁業地域を形成する。さらに、平成12年の新島・神津島近海地震により磯根漁場の荒廃が認められており、イセエビ・テングサを主対象とする地先型増殖場の整備により、漁業生産の増加と漁家所得の向上を図る。		
主要工事計画	[野伏漁港] (1)防波堤L=30m、-7.5m岸壁(補修)L=155m、-7.5m岸壁L=40m、-4.5m航路浚渫A=200㎡、-4.5m泊地浚渫A=1,500㎡、(1)道路(歩道)L=130m、(2)道路L=89m、(1)用地A=580㎡ [小浜漁港] (1)防波堤L=45m、(2)防波堤L=20m、船揚場(改良)L=35m [式根島漁場] 地先型増殖場A=1.897ha		
事業費	3,140百万円	事業期間	平成14年度～平成28年度

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
本事業では、期中の評価を行った平成24年度と比較して、利用漁船隻数や漁獲金額等が減少したが、高速ジェット船の就航率が大幅に改善したことを踏まえて便益内容の見直しを行い、それに加えて労務単価の更新を行ったことにより、便益が向上し、費用対効果が向上した。	

2. 事業効果の発現状況				
<p>野伏漁港は事業実施以前、港内静穏度が不十分だったことから、港内作業の効率性等に課題があった。本事業による防波堤整備により、港内静穏度が向上し、作業環境の効率化が図られている。また、泊地・航路浚渫により、高速ジェット船の安定した就航に寄与している。</p> <p>小浜漁港は事業実施以前、船揚場の勾配が一定ではなく、漁船の上下架作業の効率性等の課題があった。本事業による船揚場改良により、上下架作業の効率化や漁船の耐用年数増加等に寄与している。</p> <p>式根島漁場は、地先型増殖場において対象生物の着生が確認され、漁獲の増加に寄与している。</p> <p>費用対効果分析の結果としては、1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。</p>				
3. 事業により整備された施設の管理状況				
<p>本事業により整備された施設は、漁港管理者である東京都が漁港漁場整備法第26条の規定に基づき漁港管理規定を定め、これに従い、適正に漁港の維持、保全及び運営その他漁港の維持管理を行っている。</p>				
4. 事業実施による環境の変化				
<p>自然環境等への顕著な影響は、現在のところ確認されていない。</p>				
5. 社会経済情勢の変化				
<p>当該地区における登録漁船隻数は、平成24年度には42隻であったが、漁業者の高齢化や漁業従事者の減少といった問題等があり、令和3年度には23隻に減少している。</p>				
6. 今後の課題				
<p>本事業で整備した漁港施設の効果を長期的に発現させていくために、漁港施設の長寿命化対策と計画的な維持管理が必要である。また、漁業者の高齢化が進行していることから、今後後継者の育成に取り組む必要がある。</p>				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成24年評価時の 費用便益比 B/C	1.04	現時点の B/C	1.62	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

Ⅲ 総合評価

本事業では、式根島の生産拠点、交通拠点及び都市交流拠点として重要な役割を担っている野伏漁港において、大型客船や高速ジェット船の就航環境や利用者の安全性向上等を図るため、特定目的岸壁(-7.5m、-4.5m)及び関連施設(岸壁、航路、泊地及び道路)の整備を行った。

また、小浜漁港においては、漁港内における作業性及び安全性の向上を図るため、防波堤整備及び船揚場改良を行った。

さらに、漁海況変動の影響により荒廃した漁場の回復・生産量の増大を図るため、地元ニーズのある地先増殖場の整備を行った。

貨幣化が可能な効果について、費用対効果分析を行ったところ、1.0を超えており、経済効果についても確認されている。

事業効果のうち貨幣化が困難な効果についても、漁港利用者の安心感の向上、都市との交流増進等の効果が認められ、地域集落活性化が図られる。

以上の結果から、本事業は当該地区において漁業経営の安定及び地域経済の振興へ寄与したものとされており、想定した事業効果の発現が認められた。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

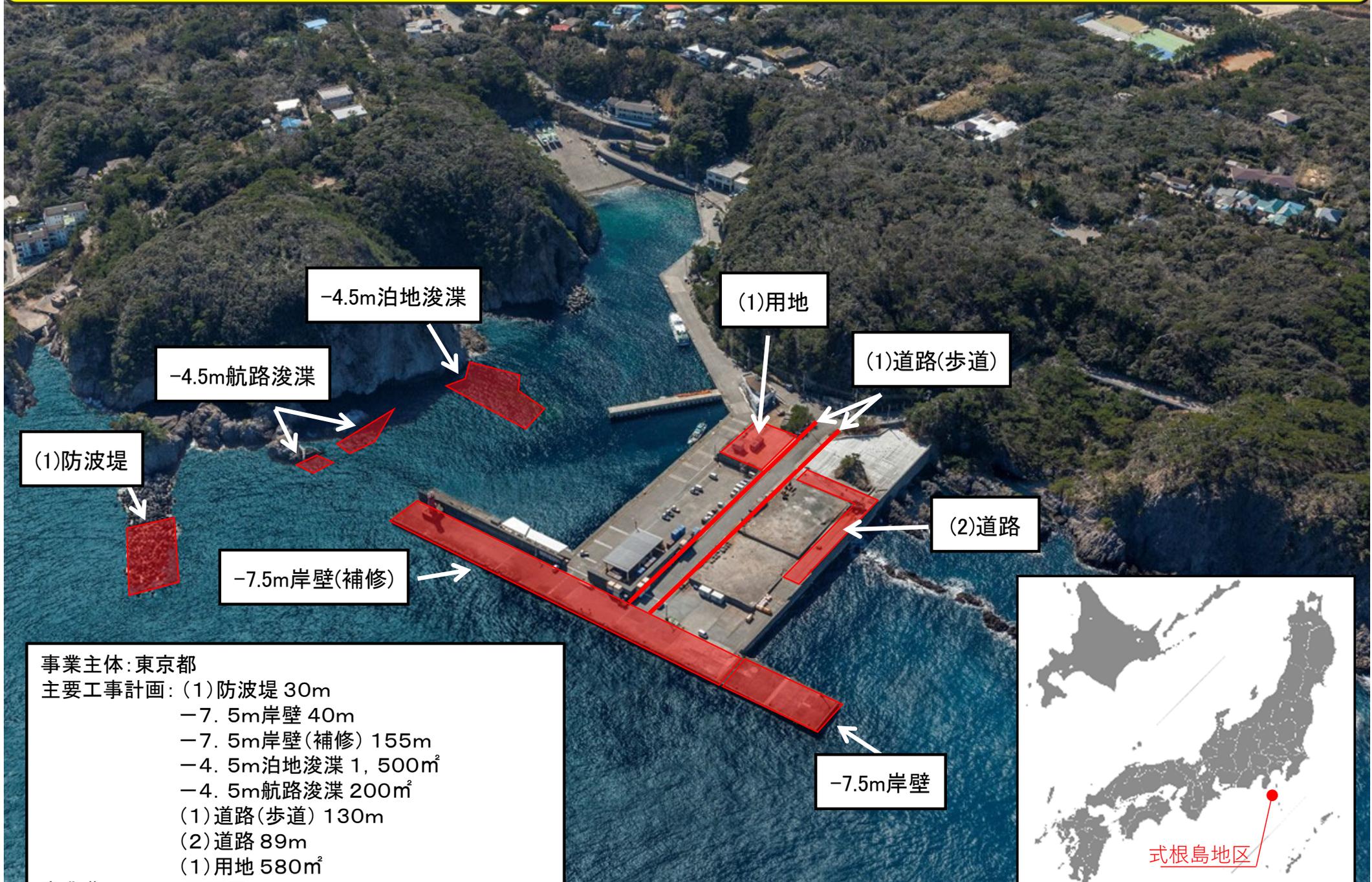
都道府県名	東京都	地区名	式根島
事業名	水産生産基盤整備事業	施設の耐用年数	50年 (漁場施設:30年)

2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	1,511,953
②漁獲機会の増大効果			825,143	千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果			279,591	千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就業環境の向上		⑤漁業就業者の労働環境改善効果	150,907	千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果	6,562,611	千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果	4,663,034	千円
非常時・緊急時の対処		⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	13,993,239	千円
総費用額（現在価値化）		C	8,624,540	千円
費用便益比		B / C	1.62	

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

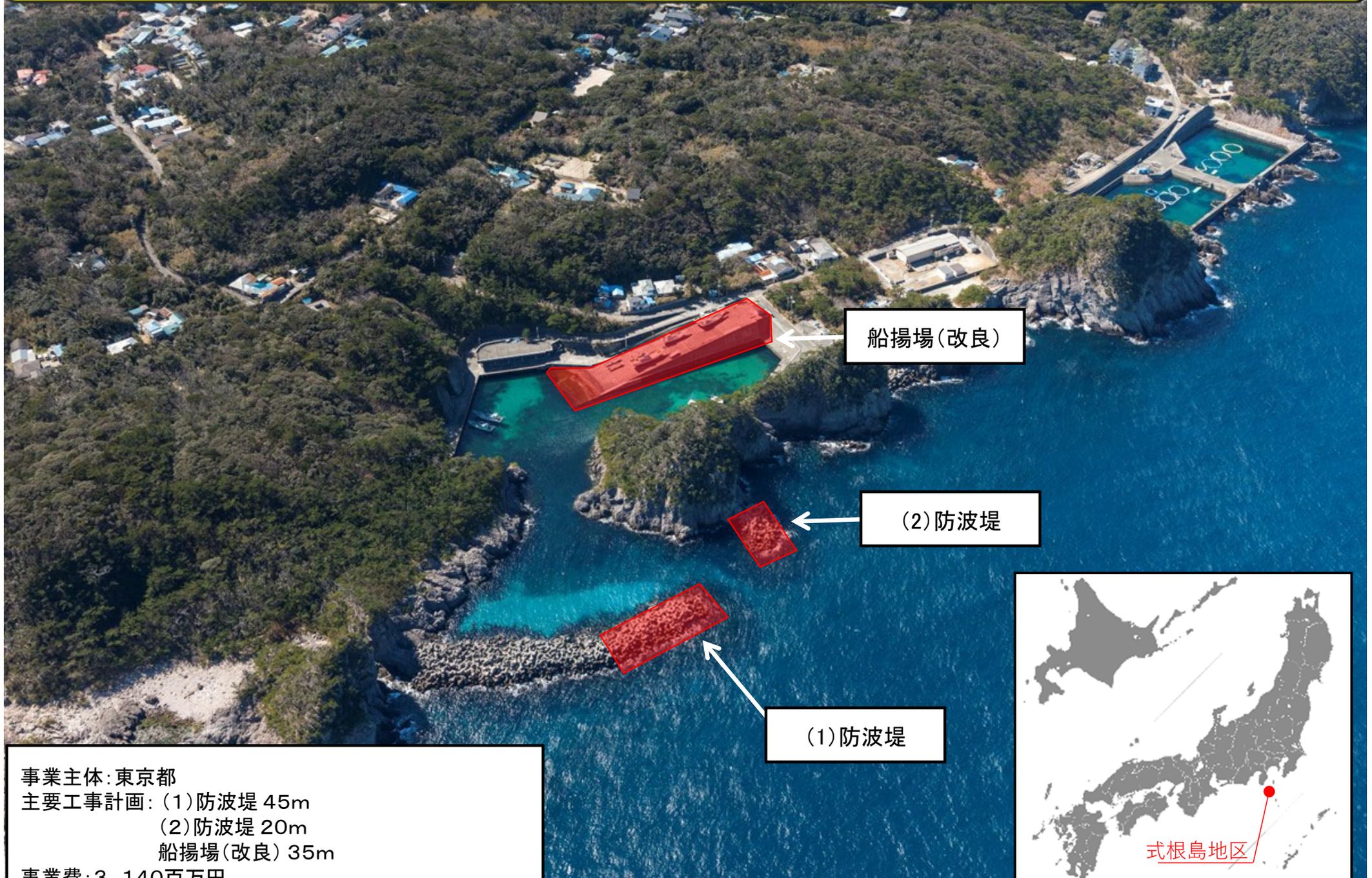
・排他的経済水域における離島漁業活動の多面的機能（海難救助機能、海域環境モニタリング機能等）の強化が図られる。
 ・当該地区は、平成12年度より過疎地域の指定を受けており、漁港・漁場施設の整備により漁業者の所得向上や従事者の減少などへの歯止め効果、宿泊施設への水産物の供給、土産物品の供給等を通して観光業の振興等幅広く地域に寄与することが期待される。



事業主体：東京都
主要工事計画：
（1）防波堤 30m
-7.5m岸壁 40m
-7.5m岸壁（補修） 155m
-4.5m泊地浚渫 1,500㎡
-4.5m航路浚渫 200㎡
（1）道路（歩道） 130m
（2）道路 89m
（1）用地 580㎡
事業費：3,140百万円
事業期間：平成14年度～平成28年度



式根島地区



事業主体：東京都

主要工事計画：(1)防波堤 45m

(2)防波堤 20m

船揚場(改良) 35m

事業費：3,140百万円

事業期間：平成14年度～平成28年度

事業主体:東京都
主要工事計画:地先型増殖場 1.897ha
事業費:3,140百万円
事業期間:平成14年度～平成28年度



式根島地区 水産生産基盤整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的：「安全・安心で活力ある離島」の実現に向け、港内静穏度を向上させて、陸揚基地の機能向上を図る。
本土と一体となった効率的な水産物流ネットワークの構築、安全で利便性の高い漁港就労環境の実現、都市交流拠点の機能向上に向け、外郭施設等の整備を図る。また、豊かな水産環境を表現させるため、地先型増殖場を整備する。
- (2) 主要工事計画：□野伏漁港
(1)防波堤L=30m、-7.5m岸壁(補修)L=155m、-7.5m岸壁L=40m、-4.5m航路浚渫A=200㎡、-4.5m泊地浚渫A=1,500㎡、(1)道路(歩道)L=130m、(2)道路L=89m、(1)用地A=580㎡
□小浜漁港
(1)防波堤L=45m、(2)防波堤L=20m、船揚場(改良)L=35m
□式根島漁場
地先型増殖場A=1.897ha
- (3) 事業費：3,140百万円
- (4) 工期：平成14年度～平成28年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」(令和5年6月改訂 水産庁)及び同「参考資料」(令和5年6月改訂 水産庁)等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	8,624,540 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	13,993,239 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.62

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
□野伏漁港		
(1)防波堤	L= 30.0m	510,771
-7.5m岸壁(補修)	L= 155.0m	33,010
-7.5m岸壁	L= 40.0m	478,774
-4.5m航路浚渫	A= 200.0㎡	21,516
-4.5m泊地浚渫	A= 1,500.0㎡	212,075
(1)道路(歩道)	L= 130.0m	9,161
(2)道路	L= 89.0m	14,569
(1)用地	A= 580.0㎡	9,155
□小浜漁港		
(1)防波堤	L= 45.0m	699,788
(2)防波堤	L= 20.0m	382,071
船揚場(改良)	L= 35.0m	685,365
□漁場整備		
地先型増殖場	A= 1.897ha	83,429
計		3,139,684
維持管理費等		218,850
総費用(消費税込)		3,358,534
内、消費税額		305,321
総費用(消費税抜)		3,053,213
現在価値化後の総費用		8,624,540

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額 (千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		40,616	<ul style="list-style-type: none"> ・防波堤の整備による出漁準備作業時間の削減(野伏) ・防波堤整備及び浚渫による港内航行時間の短縮(野伏) ・道路整備による定期船等の利用者と漁業者の輻輳回避(野伏) ・防波堤整備・船揚場改良による荒天時漁船上下架・固定作業時間等の削減(小浜) ・防波堤整備による台風時見回り点検作業時間・経費の削減(小浜) ・船揚場改良による漁船修理時の上下架作業時間の短縮(小浜) ・船揚場改良による漁船修理費用の削減(小浜) ・防波堤整備による県外船の荒天時避難時間・経費の削減(小浜) ・防波堤整備による漁船耐用年数の延長(小浜)
漁獲機会の増大効果		20,822	<ul style="list-style-type: none"> ・防波堤整備及び浚渫による出漁日数の増加(野伏) ・防波堤整備及び浚渫による操業時間の延長(野伏) ・防波堤整備による出漁日数の増加(小浜) ・防波堤整備による操業時間の延長(小浜)
漁獲可能資源の維持培養効果		7,095	<ul style="list-style-type: none"> ・増殖場等整備による生産量の増加(式根島漁場)
漁業就業者の労働環境改善効果		4,261	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設整備に伴う利便性向上による労力の軽減(野伏) ・漁港施設整備に伴う利便性向上による労力の軽減(小浜)
生活環境の改善効果		145,104	<ul style="list-style-type: none"> ・特目岸壁整備による定期船接岸時間の短縮(野伏) ・道路(歩道)整備による定期船利用者の安全性向上(野伏) ・防波堤等整備によるジェット船航路欠航回数の減少(野伏)
漁業外産業への効果		103,424	<ul style="list-style-type: none"> ・防波堤整備及び浚渫による出入港の準備作業時間の解消(野伏) ・泊地・航路整備による観光客の島内消費増加による効果(野伏)
計		321,322	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率 ①	デフレ レータ ②	費用(千円)			便益(千円)						計 ④	現在価値 (千円) ①×④	
				事業費 (維持管理 費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理 費含む) ①×②×③	水産物 生産コスト 削減効果	漁獲機会 増大効果	漁獲可能 資源の維持 培養効果	漁業就業 者の労働 環境改善 効果	生活環境 改善効果	漁業外産 業への効果			
															③
-22	H13	2.370	1.447	51,300	48,857	167,550	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-21	H14	2.279	1.451	230,299	219,332	725,293	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-20	H15	2.191	1.481	362,029	344,790	1,118,799	0	0	7,095	0	0	0	7,095	15,545	
-19	H16	2.107	1.483	575,650	548,238	1,713,069	0	0	7,095	0	0	0	7,095	14,949	
-18	H17	2.026	1.482	354,338	337,465	1,013,249	0	0	7,095	0	144,796	99,792	251,683	509,910	
-17	H18	1.948	1.453	440,495	419,519	1,187,425	0	0	7,095	0	144,796	99,792	251,683	490,279	
-16	H19	1.873	1.466	223,754	213,099	585,131	0	0	7,095	0	144,796	99,792	251,683	471,402	
-15	H20	1.801	1.463	190,093	181,041	477,018	8,862	12,608	7,095	1,393	144,796	103,424	278,178	500,999	
-14	H21	1.732	1.373	3,376	3,215	7,645	28,613	20,822	7,095	1,393	144,796	103,424	306,143	530,241	
-13	H22	1.665	1.320	314,233	299,270	657,736	28,613	20,822	7,095	1,393	144,796	103,424	306,143	509,728	
-12	H23	1.601	1.369	302,649	288,237	631,749	28,613	20,822	7,095	1,393	144,796	103,424	306,143	490,134	
-11	H24	1.539	1.321	78,611	74,868	152,208	28,613	20,822	7,095	1,393	144,796	103,424	306,143	471,154	
-10	H25	1.480	1.326	4,331	4,125	8,095	39,404	20,822	7,095	4,261	144,796	103,424	319,802	473,308	
-9	H26	1.423	1.268	4,331	4,010	7,235	39,404	20,822	7,095	4,261	144,796	103,424	319,802	455,078	
-8	H27	1.369	1.247	7,294	6,754	11,530	39,404	20,822	7,095	4,261	144,796	103,424	319,802	437,808	
-7	H28	1.316	1.247	34,253	31,716	52,048	39,404	20,822	7,095	4,261	144,796	103,424	319,802	420,860	
-6	H29	1.265	1.214	4,377	4,053	6,224	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	406,472	
-5	H30	1.217	1.176	4,377	4,053	5,801	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	391,050	
-4	R1	1.170	1.144	4,377	3,979	5,326	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	375,947	
-3	R2	1.125	1.127	4,377	3,979	5,045	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	361,488	
-2	R3	1.082	1.087	4,377	3,979	4,680	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	347,671	
-1	R4	1.040	1.000	4,377	3,979	4,138	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	334,175	
0	R5	1.000	1.000	4,377	3,979	3,979	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	321,322	

1	R6	0.962	1.000	4,377	3,979	3,828	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	309,112	
2	R7	0.925	1.000	4,377	3,979	3,681	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	297,222	
3	R8	0.889	1.000	4,377	3,979	3,537	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	285,655	
4	R9	0.855	1.000	4,377	3,979	3,402	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	274,731	
5	R10	0.822	1.000	4,377	3,979	3,271	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	264,127	
6	R11	0.790	1.000	4,377	3,979	3,143	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	253,844	
7	R12	0.760	1.000	4,377	3,979	3,024	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	244,204	
8	R13	0.731	1.000	4,377	3,979	2,909	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	234,886	
9	R14	0.703	1.000	4,377	3,979	2,797	40,616	20,822	7,095	4,261	145,104	103,424	321,322	225,889	
10	R15	0.676	1.000	4,377	3,979	2,690	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	212,417	
11	R16	0.650	1.000	4,377	3,979	2,586	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	204,248	
12	R17	0.625	1.000	4,377	3,979	2,487	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	196,392	
13	R18	0.601	1.000	4,377	3,979	2,391	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	188,851	
14	R19	0.577	1.000	4,377	3,979	2,296	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	181,309	
15	R20	0.555	1.000	4,377	3,979	2,208	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	174,396	
16	R21	0.534	1.000	4,377	3,979	2,125	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	167,797	
17	R22	0.513	1.000	4,377	3,979	2,041	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	161,199	
18	R23	0.494	1.000	4,377	3,979	1,966	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	155,227	
19	R24	0.475	1.000	4,377	3,979	1,890	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	149,257	
20	R25	0.456	1.000	4,377	3,979	1,814	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	143,287	
21	R26	0.439	1.000	4,377	3,979	1,747	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	137,946	
22	R27	0.422	1.000	4,377	3,979	1,679	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	132,604	
23	R28	0.406	1.000	4,377	3,979	1,615	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	127,576	
24	R29	0.390	1.000	4,377	3,979	1,552	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	122,549	
25	R30	0.375	1.000	4,377	3,979	1,492	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	117,835	
26	R31	0.361	1.000	4,377	3,979	1,436	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	113,436	
27	R32	0.347	1.000	4,377	3,979	1,381	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	109,037	
28	R33	0.333	1.000	4,377	3,979	1,325	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	104,638	
29	R34	0.321	1.000	4,377	3,979	1,277	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	100,867	
30	R35	0.308	1.000	4,261	3,874	1,193	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	96,782	
31	R36	0.296	1.000	4,231	3,846	1,138	40,616	20,822	0	4,261	145,104	103,424	314,227	93,011	
32	R37	0.285	1.000	3,268	2,971	847	40,616	20,822	0	4,261	308	3,632	69,639	19,847	
33	R38	0.274	1.000	3,222	2,929	803	40,616	20,822	0	4,261	308	3,632	69,639	19,081	
34	R39	0.264	1.000	3,222	2,929	773	40,616	20,822	0	4,261	308	3,632	69,639	18,385	
35	R40	0.253	1.000	1,534	1,395	353	31,754	8,214	0	2,868	308	0	43,144	10,916	
36	R41	0.244	1.000	1,001	910	222	12,003	0	0	2,868	308	0	15,179	3,704	
37	R42	0.234	1.000	1,001	910	213	12,003	0	0	2,868	308	0	15,179	3,552	
38	R43	0.225	1.000	1,001	910	205	12,003	0	0	2,868	308	0	15,179	3,415	
39	R44	0.217	1.000	1,001	910	197	12,003	0	0	2,868	308	0	15,179	3,294	
40	R45	0.208	1.000	46	42	9	1,212	0	0	0	308	0	1,520	316	
41	R46	0.200	1.000	46	42	8	1,212	0	0	0	308	0	1,520	304	
42	R47	0.193	1.000	46	42	8	1,212	0	0	0	308	0	1,520	293	
43	R48	0.185	1.000	46	42	8	1,212	0	0	0	308	0	1,520	281	
計				3,358,534	3,189,680	8,624,540								計	13,993,239

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定
※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

1) 防波堤の整備による出漁準備作業時間の削減 [野伏漁港]

敷網・刺網漁業では、港内静穏度が十分に確保されていないことから、出漁準備作業での網等の漁具の積み下ろし作業に時間を要していた。防波堤の整備後は、港内静穏度が向上して網等の積み下ろし作業時間の削減が見込まれる。

区分			備考
網漁業経営体数 (経営体)	①	10	R03港勢調査・2018年漁業センサス
年間出漁日数 (日/年)	②	135	2018年漁業センサス：平均出漁日数
作業人員数 (人/経営体)	③	5.5	調査日：令和5年10月18日
1日当り作業時間 (時間/回)			調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所
[整備前]	④	1.00	調査対象者：にいじま漁業協同組合職員
[整備後]	⑤	0.50	調査実施者：東京都職員
労務単価 (千円/人・時間)	⑥	2,346	調査実施方法：ヒアリング調査
年間便益額 (千円/年)		8,710	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
			①×②×③×(④-⑤)×⑥

2) 防波堤整備及び浚渫による港内航行時間の短縮 [野伏漁港]

整備前は、岩礁により港口が狭く、また港内には突堤が存在しているため漁船が航行する航路が狭く且つ直線的でない。出入港の際には注意しながら速度を落として航行しなければならぬため、時間を要していた。

防波堤整備、航路・泊地浚渫後は、港内における航行の安全性が向上するため、出入港の航行時間の短縮が見込まれる。

区分			備考
対象作業人数 (人/日)	①	6	R03港勢調査：海上作業従事者数
年間出漁日数 (日/年)	②	135	2018年漁業センサス：平均出漁日数
1日当り港内航行短縮時間 (時間/日)	③	0.08	調査日：令和5年10月18日
			調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所
			調査対象者：にいじま漁業協同組合職員
			調査実施者：東京都職員
			調査実施方法：ヒアリング調査
労務単価 (千円/人・時間)	④	2,346	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)		152	①×②×③×④

3) 道路整備による定期船等の利用者と漁業者の輻輳回避 [野伏漁港]

整備前は、定期船や貨物船に積み込む貨物等の仮置き用地への道路は一本しか無いため、漁業作業と貨物運送車両との通行が輻輳し、漁業活動に支障が生じていた。

道路整備後は、この輻輳が改善され、漁業作業の効率が向上し、作業時間の短縮が図られる。

区分			備考
定期船(さるびあ)年間平均就航便数 (便/年)	①	492	R02～04東海汽船運航実績
定期船(フェリーあぜりあ)年間平均就航便数 (便/年)	②	240	R02～04神新汽船運航実績
平均作業人数 (人/日)	③	8.5	調査日：令和5年10月18日
			調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所
			調査対象者：にいじま漁業協同組合職員
			調査実施者：東京都職員
			調査実施方法：ヒアリング調査
作業短縮時間 (時間/人)	④	0.083	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
労務単価 (千円/人・時間)	⑤	2,346	
年間便益額 (千円/年)		1,212	(①+②)×③×④×⑤

4) 防波堤整備・船揚場改良による荒天時漁船上架・固定作業時間の削減 [小浜漁港]

整備前は、台風等の荒天時には船揚場に漁船を上架していたが、港内静穏度が十分でないことや船揚場の勾配が一定ではなく、漁船が倒れないように支えながら上下架作業を行わなければならないなど、多くの人員と時間を要して漁船の上架、固定作業を行っていた。

防波堤整備や船揚場の改良後は、上下架作業が容易になり、作業時間が削減される。

区分			備考
船揚場上架漁船隻数 (隻)	①	18	R03港勢調査：荒天時船揚場上架隻数
年間異常荒天回数 (回/年)	②	14	
1隻当り作業時間 (時間/隻)			調査日：令和5年10月18日
[整備前]	③	3.5	調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所
[整備後]	④	1.5	調査対象者：にいじま漁業協同組合職員
1隻当り作業人数 (人/隻)			調査実施者：東京都職員
[整備前]	⑤	6	調査実施方法：ヒアリング調査
[整備後]	⑥	3	
労務単価 (千円/人・時間)	⑦	2,346	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)		9,755	①×②×(③×⑤-④×⑥)×⑦

5) 防波堤整備による台風時見回り点検作業時間・経費の削減 [小浜漁港]

整備前は、台風等の荒天時は漁船を船揚場上架していたが、港内静穏度が悪く波の打ち上げが激しいため漁業者が各自見回り点検作業を行っていた。防波堤整備後は、漁船等を安心して上架しておくことができるようになり、見回り点検作業時間が削減される。

区分		備考
対象漁船隻数 (隻)	① 18	R03港勢調査：荒天時船揚場上架隻数
年間荒天回数 (回/年)	② 14	
年間見回り作業日数 (日/年)	③ 20	調査日：令和5年10月18日
1隻当り作業人数 (人/隻)	④ 1	調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所
1日当り見回り作業時間 (時間/日)		調査対象者：にいじま漁業協同組合職員
[整備前]	⑤ 3.0	調査実施者：東京都職員
[整備後]	⑥ 0.5	調査実施方法：ヒアリング調査
労務単価 (千円/人・時間)	⑦ 2,346	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	2,111	①×③×④×(⑤-⑥)×⑦

6) 船揚場改良による漁船修理時の上下架作業時間の短縮 [小浜漁港]

整備前は、漁船の修理・点検等のための船揚場利用(上下架)は年間20回(隻)程度行っていた。ただし、既設船揚場は勾配が一定ではないために船が転倒しやすく、上下架作業に多くの人員・時間を要していた。

船揚場改良後は、漁船の上下架作業が容易となるため作業性が向上し、作業時間の短縮が見込まれる。

区分		備考
年間修理隻数 (隻/年)	① 5.5	
1回当り上下架・固定作業時間 (時間/回)		調査日：令和5年10月18日
[整備前]	② 6.5	調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所
[整備後]	③ 3.0	調査対象者：にいじま漁業協同組合職員
作業人数 (人/回)		調査実施者：東京都職員
[整備前]	④ 7	調査実施方法：ヒアリング調査
[整備後]	⑤ 3	
労務単価 (千円/人・時間)	⑥ 2,346	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	471	①×(②×④-③×⑤)×⑥

7) 船揚場改良による漁船修理費用の削減 [小浜漁港]

整備前は、船揚場の勾配が一定でないために、漁船上下架の際に船底が破損する場合があった。

船揚場の改良により破損がなくなり、漁船修理費用が削減されるとともに、修理期間中の操業停止がなくなる。

区分		備考
年間損傷漁船隻数 (隻)	① 2	調査日：令和5年10月18日
漁船修理経費 (千円/隻)	② 250.0	調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所
漁船修理期間 (日/隻)	③ 3.5	調査対象者：にいじま漁業協同組合職員
年間漁獲金額 (千円/年)	④ 40,000	調査実施者：東京都職員
年間出漁日数 (日/年)	⑤ 135	調査実施方法：ヒアリング調査
対象漁船隻数 (隻)	⑥ 18	R01～R03港勢調査：3ヶ年平均
1日1隻当り漁獲金額 (千円/日)	⑦ 16	2018年漁業センサス：平均出漁日数
漁業所得率	⑧ 0.58	R01～R03港勢調査：地元利用漁船隻数3ヶ年平均
年間便益額 (千円/年)	565	④/⑤/⑥
		R03漁業経営調査報告 太平洋中区
		①×(②+③×⑦×⑧)

8) 防波堤整備による県外船の荒天時避難時間・経費の削減 [小浜漁港]

台風時は水域係留が困難で全ての漁船が揚船しているが、防波堤等の整備により台風時の静穏度が向上し、港内での水域係留が可能となる。

これに伴い、県外船(野伏や周辺漁場で操業している県外船)の避難が可能となる。

(ここでは外来避難漁船の避難経費及び避難に要する時間を操業可能時間として漁獲金額増加分を算定した)

区分		備考
避難受入可能隻数 (隻/回)	① 10	
年間台風来襲回数 (回/年)	② 6	
往復移動時間(下田港へ避難) (時間/回・隻)	③ 4.2	調査日：令和5年10月18日
往復移動時間(小浜漁港へ避難) (時間/回・隻)	④ 0.3	調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所
移動経費(下田港へ避難) (千円/回・隻)	⑤ 21	調査対象者：にいじま漁業協同組合職員
移動経費(小浜漁港へ避難) (千円/回・隻)	⑥ 1.5	調査実施者：東京都職員
漁業収入 (千円/時間・隻)	⑦ 14.5	調査実施方法：ヒアリング調査
乗組員数 (人/隻)	⑧ 2.7	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
労務単価 (千円/人・時間)	⑨ 2,346	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	6,045	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
		①×②×((③-④)×(⑦+⑧×⑨)+(⑤-⑥))

9) 防波堤整備による漁船耐用年数の延長 [小浜漁港]

整備前は、港内静穏度が悪いことから船体を傷つけたりするため、漁船の耐用年数を縮めていた。
防波堤整備後は静穏度が向上するため、漁船の耐用年数が延長される。

区分		備考
通常時に水域係留する漁船隻数 (隻)	① 7	R03港勢調査：登録漁船隻数(3t以上)
上記の総トン数 (トン)	② 54.4	R03港勢調査：登録漁船隻数(3t以上合計)
平均的な漁船の耐用年数 (年)	③ 7	『減価償却資産の耐用年数等に関する省令』より：FRP船
想定される耐用年数の延長 (年)	④ 3.17	水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン 参考資料 (R5.6) 『平成25年度に実施された実態調査(水産庁)』によると、漁船使用期間が平均3.17年延長
漁船の建造費 (千円/トン)	⑤ 4,786.7	造船機統計調査H31.1~R04.12 4,754千円/トン× (R5:102.5/R2:101.8)
年間便益額 (千円/年)	11,595	②×((1/③)-(1/(③+④)))×⑤

(2) 漁獲機会の増大効果・削減効果

1) 防波堤整備及び浚渫による出漁日数の増加 [野伏漁港]

整備前は、台風等の荒天時前後は港口部の静穏度が悪いため出漁できない日があった。また、漁業運搬船は、外洋に面した特目岸壁を使用していることから、欠航することが多く、給水が滞ることがあったため、出漁に影響していた。

防波堤整備及び航路・泊地浚渫後は、静穏度向上等により出漁日数が増加する。

区分		備考
年間漁獲金額 (千円/年)	① 39,476	R01~R03港勢調査(3ヶ年平均) ※採藻陸揚げを除く
年間平均出漁日数 (日/年)	② 135	2018漁業センサス：平均出漁日数
年間出漁増加日数 (日/年)	③ 56	調査日：令和5年9月26日 調査場所：にいじま漁業協同組合 若郷本所 調査対象者：にいじま漁業協同組合職員 調査実施者：東京都職員 調査実施方法：ヒアリング調査
漁業所得率	④ 0.58	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	9,498	①/②×③×④

2) 防波堤整備及び浚渫による操業時間の延長 [野伏漁港]

整備前は、越波や回折波により港口部や港内の静穏度が十分でなかった。このため、天候が悪化すると港口部での操船が危険となるうえ、水面係留も困難となり船揚場に上架しなければならなくなることから、漁場での操業が可能であっても操業を早めに切り上げている。

防波堤整備及び航路・泊地浚渫後は、港口部での操船の安全性が向上し、また水面係留が可能となることから、天候悪化時でも操業限界まで操業が可能となり、操業時間の延長が見込まれる。

区分		備考
年間漁獲金額 (千円/年)	① 39,476	R01~R03港勢調査(3ヶ年平均) ※採藻陸揚げを除く
年間平均出漁日数 (日/年)	② 135	2018漁業センサス：平均出漁日数
1日当り出漁時間 (時間/日)	③ 4.5	調査日：令和5年10月18日 調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所 調査対象者：にいじま漁業協同組合職員 調査実施者：東京都職員 調査実施方法：ヒアリング調査
延長できる操業時間 (時間/日)	④ 2.5	
操業時間が延長できる日数 (日/年)	⑤ 33	
漁業所得率	⑥ 0.58	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	3,110	①/②/③×④×⑤×⑥

3) 防波堤整備による出漁日数の増加 [小浜漁港]

整備前は、台風等の荒天時前後は港口部の静穏度が悪いため出漁できない日があった。また、漁業運搬船は、外洋に面した特目岸壁を使用していることから、欠航することが多く、給水が滞ることがあったため、出漁に影響していた。

防波堤整備後は、静穏度向上等により出漁日数が増加する。

区分		備考
年間漁獲金額 (千円/年)	① 25,745	R01~R03港勢調査(3ヶ年平均) ※採藻陸揚げを除く
年間平均出漁日数 (日/年)	③ 135	2018漁業センサス：平均出漁日数
年間出漁増加日数 (日/年)	④ 56	調査日：令和5年10月18日 調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所 調査対象者：にいじま漁業協同組合職員 調査実施者：東京都職員 調査実施方法：ヒアリング調査
漁業所得率	⑤ 0.58	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	6,204	①/②×③×④

4) 防波堤整備による操業時間の延長 [小浜漁港]

整備前は、越波や回折波により港口部や港内の静穏度が十分でなかった。このため、天候が悪化すると港口部での操船が危険となるうえ、水面係留も困難となり船揚場に上架しなければならなくなることから、漁場での操業が可能であっても操業を早めに切り上げている。

防波堤整備後は、港口部での操船の安全性が向上し、また水面係留が可能となることから、天候悪化時でも操業限界まで操業が可能となり、操業時間の延長が見込まれる。

区分		備考
年間漁獲金額 (千円/年)	① 25,745	R01～R03港勢調査(3ヶ年平均) ※採藻陸揚げを除く
年間平均出漁日数 (日/年)	② 135	2018漁業センサス：平均出漁日数
1日当り出漁時間 (時間/日)	③ 4.5	
延長できる操業時間 (時間/日)	④ 2.5	調査日：令和5年10月18日 調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所 調査対象者：にいじま漁業協同組合職員 調査実施者：東京都職員 調査実施方法：ヒアリング調査
操業時間が延長できる日数 (日/年)	⑤ 33	
漁業所得率	⑥ 0.58	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	2,010	①/②/③×④×⑤×⑥

(3) 漁獲可能資源の維持・培養効果

1) 増殖場整備による生産量の増加 [式根島漁場]

地先型増殖場の整備により、イセエビの資源量が増大し、生産量が増加する。

区分		備考
年間平均漁獲量 (t/年)		
[整備前]	① 0.00	港勢調査H05～H14平均：イセエビ漁獲量
[整備後]	② 3.12	港勢調査H24～R03平均：イセエビ漁獲量
イセエビ平均単価 (千円/t)	③ 5,418	東京都の水産：H28～R2年イセエビ平均単価(にいじま漁協)
漁業変動経費率	④ 0.42	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	7,095	(②-①)×③×④

(4) 漁業就業者の労働環境改善効果

1) 漁港整備に伴う利便性向上による労力の軽減 [野伏漁港]

港内静穏度の向上により漁船の動揺が少なくなるため、漁獲物の陸揚、漁具資材の積み下ろし、漁船の上下架等に要する労力が軽減されるなど、漁港内での作業全般にわたって就労環境が改善される。

区分		備考
漁港利用日数 (日/年)	① 135	2018漁業センサス：平均出漁日数
対象作業人数 (人/日)		
[海上]	② 6.0	R03港勢調査：海上作業従事者数
[陸上]	③ 2.5	
作業時間 (時間/日)	④ 4.5	調査日：令和5年10月18日 調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所 調査対象者：にいじま漁業協同組合職員 調査実施者：東京都職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業ランク		
整備前	⑤ 1.115	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (令和5年6月) 令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価表：東京都平均 (令和5年2月：国土交通省)
整備後	⑥ 1.000	
労務単価 (千円/人・時間)	⑦ 2.346	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	1,393	①×(②+③)×④×(⑤-⑥)×⑦

2) 漁港整備に伴う利便性向上による労力の軽減 [小浜漁港]

港内静穏度の向上により漁船の動揺が少なくなるため、漁獲物の陸揚、漁具資材の積み下ろし、漁船の上下架等に要する労力が軽減されるほか、安全性の向上により安心感が増進され、係船岸や用地の整備によりゆとりある作業が可能になるなど、漁港内での作業全般にわたって就労環境が改善される。

区分		備考
漁港利用日数 (日/年)	① 135	2018漁業センサス：平均出漁日数
対象作業人数 (人/日)		
[海上]	② 15.0	R03港勢調査：海上作業従事者数
[陸上]	③ 2.5	
作業時間 (時間/日)	④ 4.5	調査日：令和5年10月18日 調査場所：にいじま漁業協同組合 式根島本所 調査対象者：にいじま漁業協同組合職員 調査実施者：東京都職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業ランク		
整備前	⑤ 1.115	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料- (令和5年6月) 令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価表：東京都平均 (令和5年2月：国土交通省)
整備後	⑥ 1.000	
労務単価 (千円/人・時間)	⑦ 2.346	R03漁業経営調査報告 太平洋中区
年間便益額 (千円/年)	2,868	①×(②+③)×④×(⑤-⑥)×⑦

(5) 生活環境の改善効果

1) 特目岸壁整備による定期船接岸時間の短縮 [野伏漁港]

特目岸壁の延長整備により定期船の接岸時間が短縮され、利用者の生活利便向上に繋がる。

区分		備考
式根島における訪島者数(実員数) (人/年)	① 24,949	伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査(H30～R04平均訪島者数※コロナ影響除外)
船舶別訪島者数のうち、定期船の比率 (%)	② 42.2	東海汽船資料(H30～R04平均定期船利用率※コロナ影響除外)
式根島における平均訪島者数のうち、定期船利用者数(船舶:実員数) (人/年)	③ 10,528	①×②/100
離接岸短縮時間(時間/人)	④ 0.17	調査日:令和5年10月18日 調査場所:東海汽船 式根島営業所 調査対象者:東海汽船職員 調査実施者:東京都職員 調査実施方法:ヒアリング調査
乗降客の時間価値(千円/人・時間)	⑤ 3.067	厚生労働省統計調査資料:毎月勤労統計調査(年統計)東京都(R04)
年間便益額(千円/年)	5,489	③×④×⑤

2) 道路(歩道)整備による定期船利用者の安全性向上 [野伏漁港]

整備前は、特目岸壁に通じる歩道が整備されておらず道路を通行余儀なくされているため、車両との接触事故の危険を伴っていた。

歩道が整備されることにより定期船乗客通行の安全性が向上する。

区分		備考
式根島における平均訪島者数のうち、定期船利用者数(船舶:実員数) (人/年)	① 10,528	(5) 1) 特目岸壁整備による定期船接岸時間の短縮 [野伏漁港] における年間定期船利用者数
乗降客港内歩行時間(時間/人)	② 0.083	調査日:令和5年10月18日 調査場所:東海汽船 式根島営業所 調査対象者:東海汽船職員 調査実施者:東京都職員 調査実施方法:ヒアリング調査
乗降客の時間価値(千円/人・時間)	③ 3.067	厚生労働省統計調査資料:毎月勤労統計調査(年統計)東京都(R04)
作業ランク		
整備前	④ 1.115	令和5年3月から適用する公共工事設計労務単価表:東京都平均(令和5年2月:国土交通省)
整備後	⑤ 1.000	
年間便益額(千円/年)	308	①×②×③×(④-⑤)

3) 防波堤整備及び泊地・航路浚渫によるジェット船航路欠航回数の減少 [野伏漁港]

防波堤整備及び泊地・航路浚渫によりジェット船の式根島航路の欠航回数が減少し、利用者の経費・時間等の減少、生活物資の安定供給が図られる。

区分		備考
ジェット船の式根島航路減少欠航回数(回/年)	① 229	東海汽船資料(整備前H14～H16平均欠航回数(297回)-整備後H30～R04平均欠航回数(68回)※新型コロナ影響除外)
ジェット船の就航率 (%)	② 87.3	東海汽船資料(H30～R04平均就航率※コロナ影響除外)
式根島における乗降客数のうち、ジェット船利用の比率 (%)	③ 53.9	東海汽船資料(H30～R04平均ジェット船利用率※コロナ影響除外)
式根島における平均訪島者数(船舶:実員数) (人/年)	④ 24,949	伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査(H30～R04平均訪島者数※コロナ影響除外)
式根島における平均訪島者数のうち、ジェット船利用者数(船舶:実員数) (人/年)	⑤ 13,448	③/100×④
式根島におけるジェット船平均就航回数(回/年)	⑥ 474	東海汽船資料(H30～R04平均就航回数※コロナ影響除外)
ジェット船平均乗客数(人/便)	⑦ 28.4	⑤/⑥
乗降客の時間価値(千円/人・時間)	⑧ 24.536	厚生労働省統計調査資料:毎月勤労統計調査(年統計)東京都(R04)×8時間
年間便益額(千円/年)	139,307	①×②/100×⑦×⑧

(6) 漁業外産業への効果

1) 防波堤整備及び浚渫による出入港の準備作業時間の解消 [野伏漁港]

-7.5m特目岸壁は、連絡船・貨物船等が利用しているため、ジェット船接岸時に、防舷材設置作業を毎回行っていた。

港口航路及び港内泊地の浚渫後は-4.5m特目岸壁にジェット船の接岸が可能となり、漁業運搬船以外の船舶とは利用が重複しなくなる。このため、ジェット船が-7.5m特目岸壁に接岸する場合の防舷材設置撤去作業が削減される。

区分			備考
ジェット船年間平均就航回数 (回/年)	①	474	東海汽船資料 (H30～R04平均欠航回数※コロナ影響除外)
平均作業人数	②	5	調査日：令和5年10月18日 調査場所：東海汽船 式根島営業所 調査対象者：東海汽船職員
平均作業時間	③	0.5	調査実施者：東京都職員 調査実施方法：ヒアリング調査
労務単価 (千円/人・時間)	④	3,067	厚生労働省統計調査資料：毎月勤労統計調査(年統計)東京都(R04)
年間便益額 (千円/年)		3,632	①×②×③×④

2) 泊地・航路整備による観光客の島内消費増加による効果 [野伏漁港]

泊地・航路の整備によりジェット船の欠航回数が減少し、観光客の増加が見込まれる。増加する利用者のほとんどは観光客で、島内での飲食・宿泊、土産購入などの経済効果が見込まれる。

区分			備考
ジェット船の式根島航路減少欠航回数 (回/年)	①	229	東海汽船資料 (整備前H14～H16平均欠航回数(297回)－整備後H30～R04平均欠航回数(68回)※新型コロナ影響除外)
ジェット船の就航率 (%)	②	87.3	東海汽船資料 (H30～R04平均就航率※コロナ影響除外)
式根島における訪島者数のうち、観光客比率 (%)	③	96.1	伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査、H29～R3平均
1回当たりジェット船利用者数 (人/回)	④	28.4	(5) 4)防波堤整備及び泊地・航路浚渫によるジェット船航路欠航回数の減少 [野伏漁港] における1回当たりジェット船利用者数
1回当たりジェット船利用者数のうち、観光客数 (人/回)	⑤	27	③/100×④
ジェット船による観光客増加数 (人/年)	⑥	5,398	①×②/100×⑤
1人1回当たり消費額 (千円/人)	⑦	36.107	伊豆諸島・小笠原諸島観光客入込実態調査報告書：式根島(H28～R2平均)
経費率	⑧	0.488	営業状況等統計調査-令和4年度- (日本旅館協会)、H29～R3平均
年間便益額 (千円/年)		99,792	⑥×⑦×(1-⑧/100)

(7) 漁業就業者の労働環境改善効果

1) 漁港整備に伴う利便性向上による労力の軽減 [野伏漁港]

評価指標		根拠(評価の目安)	評価 ポイント	整備前		整備後		評価の根拠	
				チェック	ポイント	チェック	ポイント		
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気が頻発している	ほぼ毎年のように事故や病気が発生	3				整備前: 直近5年以内には事故の発生は無いが、事故発生の危険性がある。 整備後: 港内静穏度が向上するなど、危険な作業は改善される。	
		b. 過去に作業中の事故や病気が発生したことがある	直近5年程度での発生がある	2					
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される		1	○	1			
		d. 事故等が発生する危険性は低い		0			○		0
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	海中への転落、漁港施設内での交通事故等	3	○	3			整備前: 漁獲物の陸揚、漁具資材の積み下ろし、漁船の上下架等は陸上作業員と海上作業員が協力して行っているが、港内静穏度が悪い状況での陸揚・準備作業や漁船の上架作業は、海中への転落の危険性が大きく、また、漁船上下架時の接触事故等が起こる可能性があった。 整備後: 港内静穏度の向上により、危険な作業は改善される。
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	2					
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	軽い打撲等	1					
		d. 事故等が発生する危険性は低い		0			○	0	
危険性小計			0~6	--	4	--	0		
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	5					整備前: 港内静穏度が十分でない現状では、泊地内や係船岸での作業は越波や岸壁への波の打ち上げ等の影響を受けている。 整備後: 港内静穏度の向上により越波や波の打ち上げの影響は改善される。	
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	風雨、波浪の飛沫等	3	○	3				
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある		1			○	1		
	d. 当該地域における標準的な作業環境である		0						
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	5					整備前: 港内静穏度の悪い状況での作業陸揚・準備作業など、負担のある作業が強いられる。 整備後: 静穏度の向上により、安全で通常作業程度の作業に改善される。	
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	長時間の同じ姿勢での作業等	3						
	c. 肉体的負担がある作業		1	○	1				
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担		0			○	0		
評価ポイント計			0~16	--	8	--	1		
作業状況ランク			A~C	B		C			

Aランクの条件 : 評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件 : 評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件 : 評価ポイント計5~0ポイント

2) 漁港整備に伴う利便性向上による労力の軽減 [小浜漁港]

評価指標		根拠(評価の目安)	評価 ポイント	整備前		整備後		評価の根拠	
				チェック	ポイント	チェック	ポイント		
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気が頻発している	ほぼ毎年のように事故や病気が発生	3				整備前: 直近5年以内には事故の発生は無いが、事故発生の危険性がある。 整備後: 港内静穏度が向上するなど、危険な作業は改善される。	
		b. 過去に作業中の事故や病気が発生したことがある	直近5年程度での発生がある	2					
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される		1	○	1			
		d. 事故等が発生する危険性は低い		0			○		0
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	海中への転落、漁港施設内での交通事故等	3	○	3			整備前: 漁獲物の陸揚、漁具資材の積み下ろし、漁船の上下架等は陸上作業員と海上作業員が協力して行っているが、港内静穏度が悪い状況での陸揚・準備作業や漁船の上架作業は、海中への転落の危険性が大きく、また、漁船上下架時の接触事故等が起こる可能性があった。 整備後: 港内静穏度の向上により、危険な作業は改善される。また、船揚場の勾配が一定になることで、漁船上下架時の接触事故の危険性が軽減された。
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	2					
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	軽い打撲等	1					
		d. 事故等が発生する危険性は低い		0			○	0	
危険性小計			0~6	--	4	--	0		
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	5					整備前: 港内静穏度が十分でない現状では、泊地内や係船岸での作業は越波や岸壁への波の打ち上げ等の影響を受けている。 整備後: 港内静穏度の向上により越波や波の打ち上げの影響は改善される。	
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	風雨、波浪の飛沫等	3	○	3				
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある		1			○	1		
	d. 当該地域における標準的な作業環境である		0						
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	5					整備前: 港内静穏度の悪い状況での作業や長時間の漁船上架作業など、負担のある作業が強いられている。 整備後: 防波堤整備および船揚場整備により、安全で通常作業程度の作業に改善される。	
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	長時間の同じ姿勢での作業等	3	○	3				
	c. 肉体的負担がある作業		1						
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担		0			○	0		
評価ポイント計			0~16	--	10	--	1		
作業状況ランク			A~C	B		C			

Aランクの条件 : 評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件 : 評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件 : 評価ポイント計5~0ポイント

(8) 生活環境の改善効果

2) 道路(歩道)整備による定期船利用者の安全性向上 [野伏漁港]

評価指標		根拠(評価の目安)	評価 ポイント	整備前		整備後		評価の根拠	
				チェック	ポイント	チェック	ポイント		
危 険 性	事故等の 発生頻度	a. 作業中の事故や病気が頻発している	ほぼ毎年のように事故や病気が発生	3				整備前:直近5年以内には事故の発生は無いが、事故発生の危険性がある。 整備後:歩道整備後は車両との接触事故の危険性は改善される。	
		b. 過去に作業中の事故や病気が発生したことがある	直近5年程度での発生がある	2					
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される		1	○	1			
		d. 事故等が発生する危険性は低い		0			○		0
	事故等 の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	海中への転落、漁港施設内での交通事故等	3	○	3			整備前:漁港利用者やフェリーへの乗車、積荷用車両との交通事故の危険性が大きい。 整備後:歩道整備後は、危険な状態は改善される。
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	転倒、資材の下敷き、落下物の危険等	2					
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	軽い打撲等	1					
		d. 事故等が発生する危険性は低い		0			○	0	
危険性 小計			0~6	--	4	--	0		
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	5					整備前:港内静穏度が十分でない現状では、用地・道路への波の打ち上げ等の影響を受けている。 整備後:港内静穏度の向上により越波や波の打ち上げの影響は改善される。	
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	風雨、波浪の飛沫等	3	○	3				
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある		1			○	1		
	d. 当該地域における標準的な作業環境である		0						
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	5					整備前:港内静穏度の悪い状況での作業陸揚・準備作業など、負担のある作業が強いられている。 整備後:静穏度の向上により、安全で通常作業程度の作業に改善される。	
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	長時間の同じ姿勢での作業等	3						
	c. 肉体的負担がある作業		1						
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担		0	○	0	○	0		
評価ポイント 計			0~16	--	7	--	1		
作業状況 ランク			A~C	B		C			

Aランクの条件 : 評価ポイント計16~13ポイント ※必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件 : 評価ポイント計12~6ポイント

Cランクの条件 : 評価ポイント計 5~0ポイント